

アビリンピックやまぐち2025

製品パッキング 競技課題

1. 課題

競技課題 1 緩衝材の組立・結束 【25セット(5束)／30分】

競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包 【4梱包(4箱)／60分】

※ 競技課題1の緩衝材(完成品)は、競技課題2で使用する。

※ 競技課題2の中箱・化粧箱身・化粧箱蓋はカットのみの材料となること。

2. 禁止事項

- (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- (2) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- (3) 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- (4) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- (5) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (6) 原則として、課題の8及び9に示すもの以外の機器を使用してはならない。
- (7) 競技中に、材料、用具類の貸し借りを行ってはならない。
- (8) その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

3. 実施内容及び実施手順

(1) 競技課題ごとに競技の説明を行う。その後競技を始める。

(2) 各競技は、詳細説明図のとおり。

※ 詳細説明図は折り方の一例であり、ほかの折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ審査減点対象にはならない。

(3) 競技部材準備では各部材の数量確認と各部材のレイアウトを決めること。

4. 注意点

(1) 競技の際は、必ず手袋を着用すること。

※ 手袋は各自で準備する事(2双)

5. 実施時間

全体説明：10分 各競技課題の説明：各5分×2

競技課題 1：30分 競技課題 2：60分

※ 競技当日は練習は行わない。

※ 審査・採点中は選手の方は休憩となること。

6. 競技審査のポイント

競技課題 1 緩衝材の組立・結束

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 製品の向きは正しいか。
 - ※○・△の向きが外側になっているか
 - ※端の製品が向かいあわせになっているか
 - ※○・△が5個ずつ混入せずに同一方向に揃えているか
- ③ 正しく結束されているか。
 - ※8cm以内の結び目で、容易に解く事ができる結び方か
 - ※緩衝材の端から10cm以内の位置に結束されているか
 - ※紐を持ち上げたときに、紐と製品の間隔が5cm以内か
- ④ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。

競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

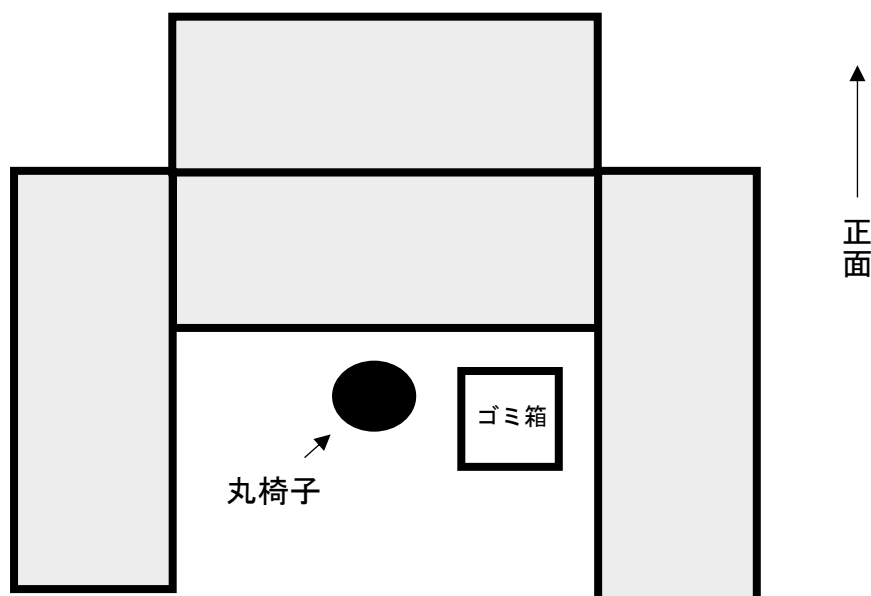
- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。
 - ※緩衝材の○・△の向きが外側に設置されているか
 - ※緩衝材A・Bそれぞれ2ヶずつ設置されているか
 - ※化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか
 - ※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか
 - ※中箱を開けた時に、小箱の底部が見えないか
 - ※小箱の中に商品が1個入っているか
- ③ 包装テープの止め方はきれいか。課題通りか。
- ④ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。
- ⑤ 完成品は敷紙の上にはみださないように設置されているか。

7. 競技レイアウト

・机は計4台使用しコの字に設置

・材料は机上に準備し、競技部材準備の時間に選手自らが各部材のレイアウトを決め設置する。

その際、競技課題2で使用する外箱のみ机に立てかけても良いが他の材料は机上に限定する。



8. 会場に準備されているもの(選手1人当たりの支給材料)

競技用材料	材料名	数量	単位	備考
	外箱	4	枚	
	小箱	16	枚	
	中箱	16	枚	
	化粧箱 身	16	枚	
	化粧箱 蓋	16	枚	
	緩衝材A	25	枚	
	緩衝材B	25	枚	
	商品	16	個	※梱包する商品
資材	結束紐	1	巻	
	くちばし型カッター	1	本	
	包装用テープ	1	巻	※テープカッター付き
	製品敷紙	1	枚	※課題2で完成品を置く際に使用します

9. 選手が持参するもの

品名	数量	単位	備考
手袋	2	双	※破れた場合を考慮し予備分1双含む
作業着	1	着	※作業着は任意持参
飲料	必要量		※適宜熱中症対策等を行うこと

10. 注意事項

① オリエンテーション(会場下見)について

【流れ・内容】

全体説明 → スタッフ紹介 → 競技のポイント・注意点の説明 → 1ケース分を作成 → 解散

【確認する事項】

・競技場所、ゼッケン、作業台の高さ 等

② 服装について

・作業着または運動着が望ましい。スカートやフリルが付いているもの、短パンやスリッパ・サンダル等作業に適さない服装は避けること。また、指輪やピアスなどの装飾品も避けること。

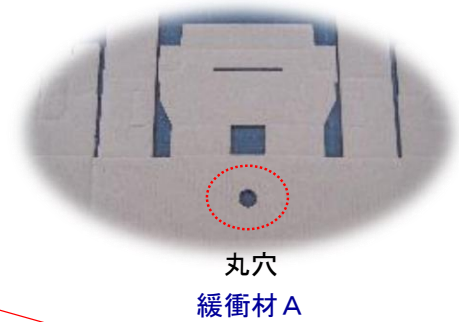
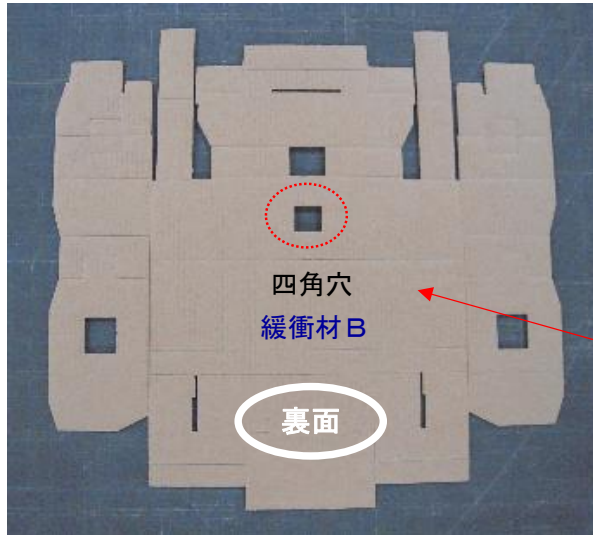
③ その他

熱中症対策として飲料を必ず持参すること。

きょうぎ か だい
【競技課題 1】

かんしょうざい くみたて けつそく
緩衝材の組立・結束

てん かい ず
展 開 図



※緩衝材は2種類ある

※罫線(折れ線)が見える方が裏面

かん せい ず
完 成 図

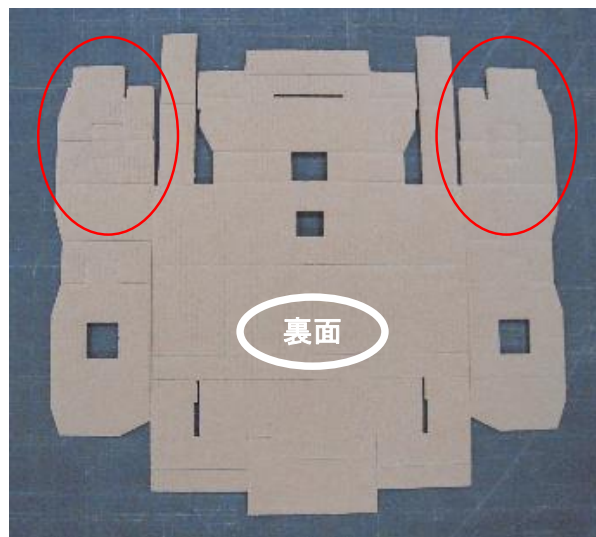


組立完成図

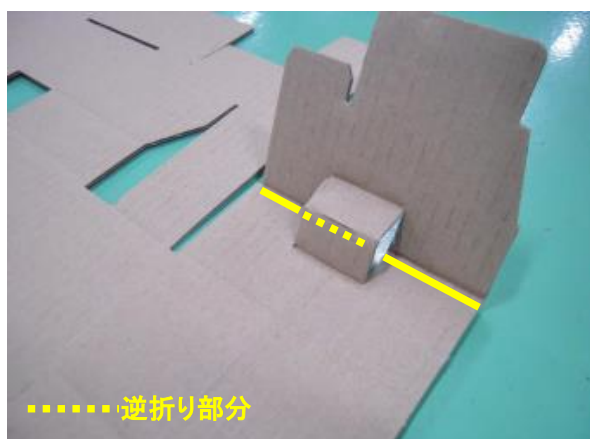


結束完成図

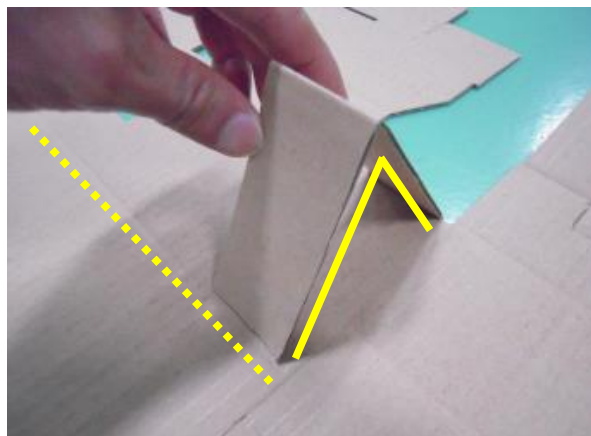
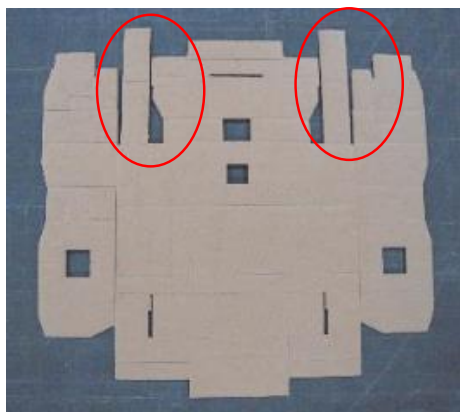
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な
折り方は共通。(写真は緩衝材B)
緩衝材の裏面を上にし折る。
最初に○印の箇所から折る。



2. 本体の袖部分2か所に折り癖をつける。



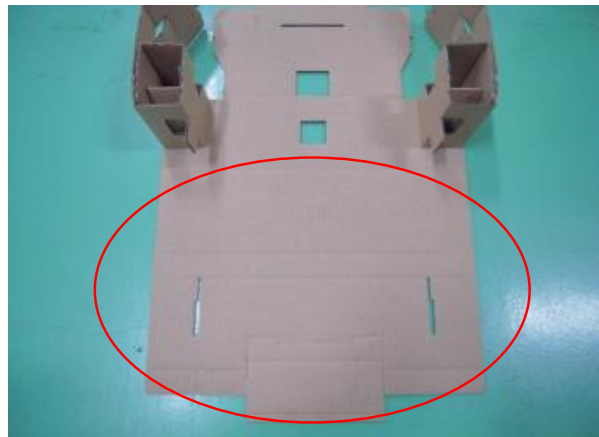
3. ○部を点線部分の罫線に合わせ折り込み
三角をつくる。



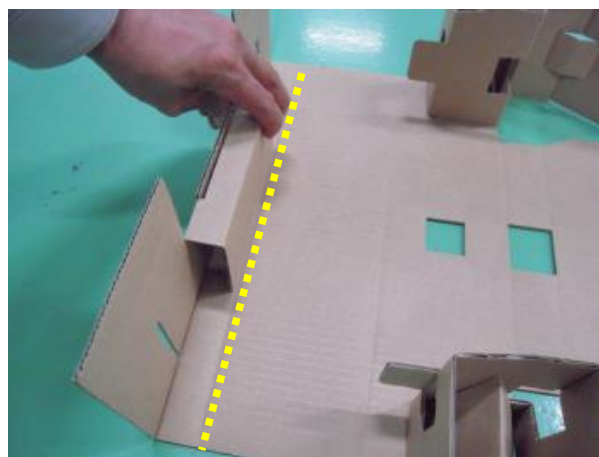
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



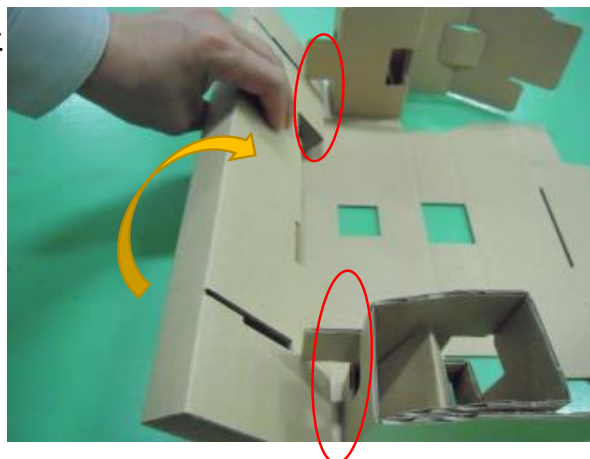
5. ○で囲んだ部分を折る。



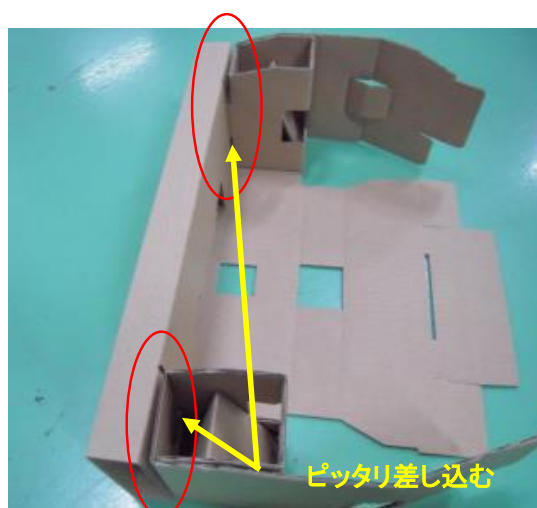
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折る。



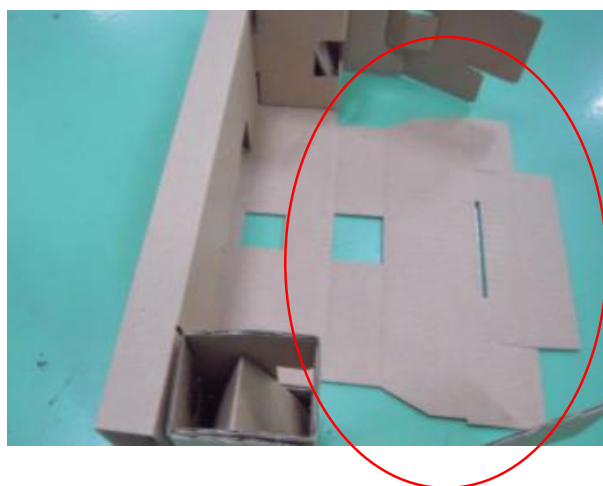
7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に
立ち上げながら折り込む。



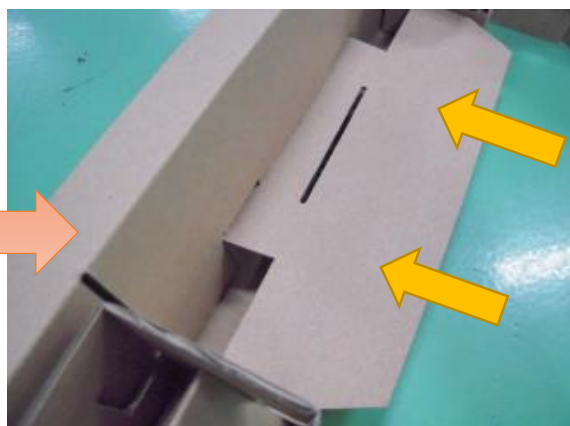
8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら
全体を立ち上げ折り込む。



9. ○で囲んだ部分を折る。



10. 先端部3か所を折りながら矢印方向に折り込む。



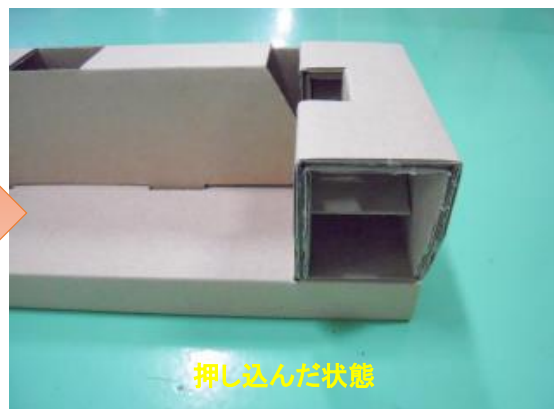
11. 全体を折り込み、本体にピッタリと押し込む。



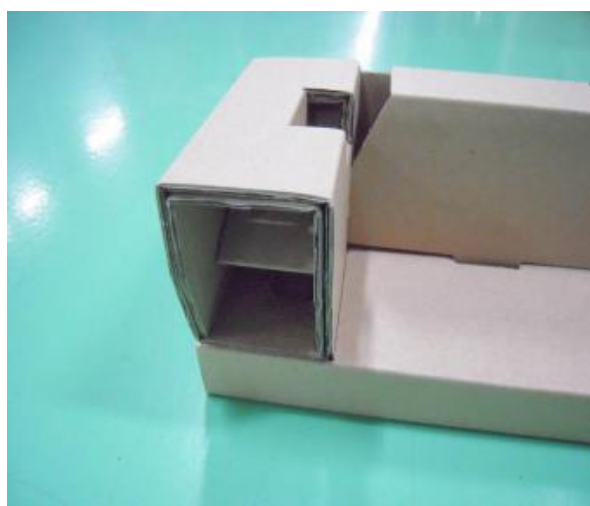
12. 袖部が上にくるように向きを変える。



13. ^{そでぶ}袖部を^{けいせん}罫線に^あ合わせ^お折り込み、^{せんたんぶ}先端部を^{ほんたい}本体に^{さこ}差し込む。



14. ^{ほんたいがわ}反対側も^{どうよう}同様に、^{ほんたい}本体に^{さこ}差し込む。



15. ^おはじめに^{さんかくぶぶん}折った三角部分が^{せいかく}正確に^{さんかく}三角になっているか^{かくにん}確認し^{かんせい}完成。
これを^{かんしょうざい}緩衝材Aと^{かんしょうざい}緩衝材Bそれぞれ^こ5個ずつ^{かんせい}完成させる。



16. ^{さぎょうだい}作業台に^{けっそくひも}結束紐を可能な限り^{かのう}直線に^{かぎ}置く。^{ちよくせん}
^お

【結束紐】信越工業 SKテープNo.70



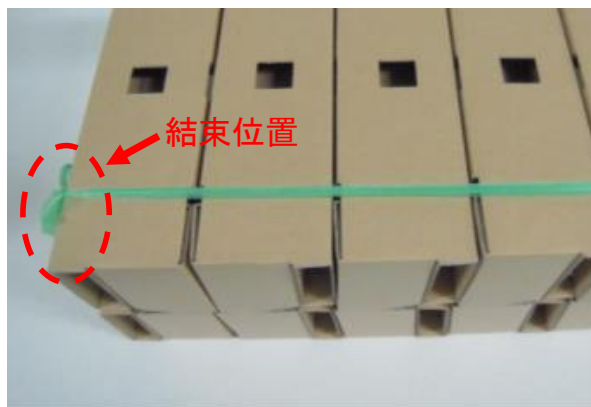
17. ^{せっち}設置した^{けっそくひも}結束紐の上に^{うえ}緩衝材^{かんしょうざい}5ヶを
^{けっそくひも}結束紐が^{はしがわい}端側位置にくるように^ち置く。
^お置く際は^お○^{さい}穴が^{あな}下にくるように^{した}置く。^お



18. 17で^お置いた^{かんしょうざい}緩衝材と^{こと}異なる^{かんしょうざい}緩衝材
(^{あな}○穴であれば^{あな}□穴、^{あな}□穴であれば^{あな}○穴)を
^{あな}5ヶ、^{あな}穴が^{うえ}上にくるように^お置く。



19. 緩衝材の端から10cm以内の角で
結束する。結び方は自由。
ただし、8cm以内の結び目で容易に
解く事が可能な結び方にする。
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の
間隔が5cm以内になるようにする。
- ※課題2では、自ら作成した製品の
紐を解いて使用する。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の
端にくるように設置する。



21. 緩衝材の角で結束し完成。



※例として横に置いた状態での結束方法を紹介しているが、
縦に置いた状態での結束でもOK。

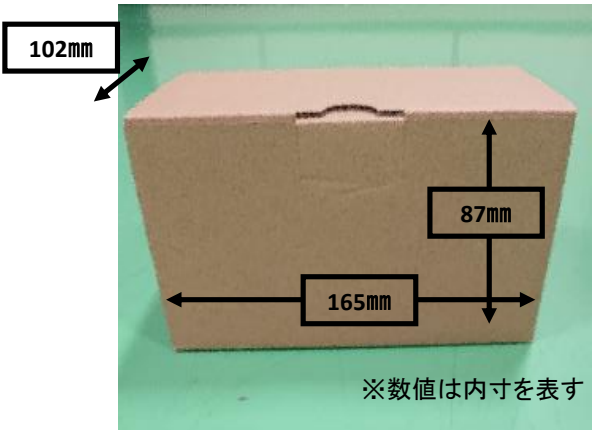
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（1）

小箱展開図



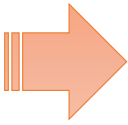
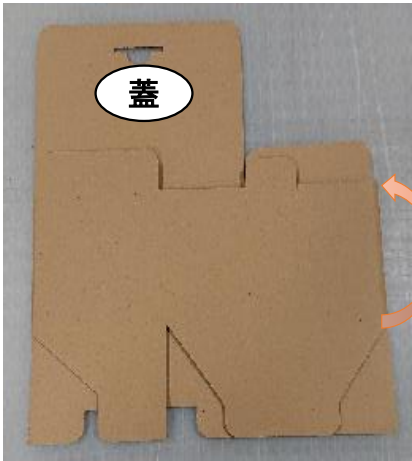
※罫線(折れ線)が見える方が裏面

小箱完成図



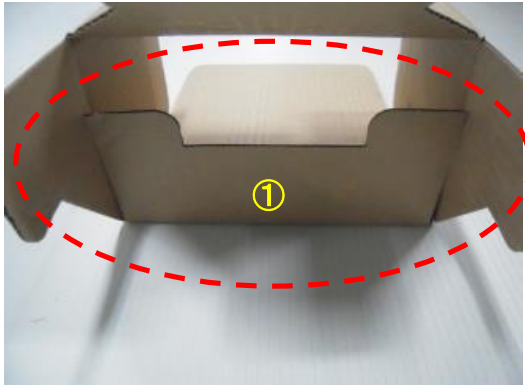
※数値は内寸を表す

1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。



本体を立ち上げた状態

2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



3. ②のフラップ2か所を内側に折る。



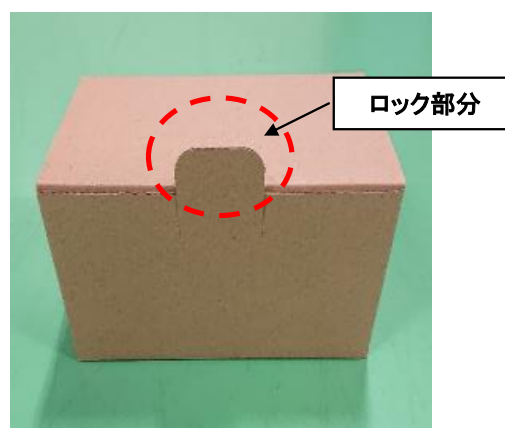
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。



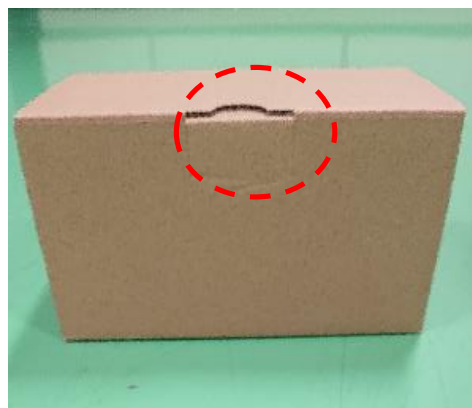
5. 底部を下にし、商品を箱の中に入れる。
商品を入れた後、内フラップ2か所を内側に折り
蓋をする。



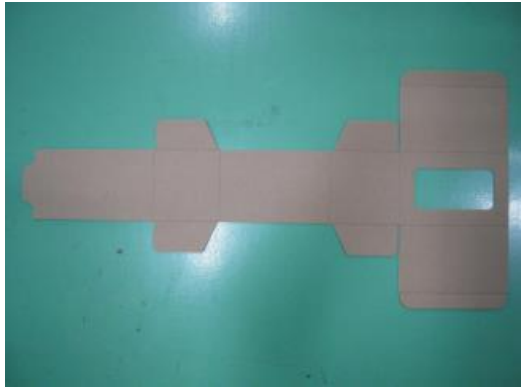
※商品の向きは審査対象外



6. 最後にロック部分を挿入し完成。



なか はこ てん かい ず
中 箱 展 開 図

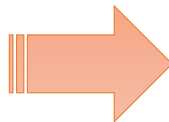
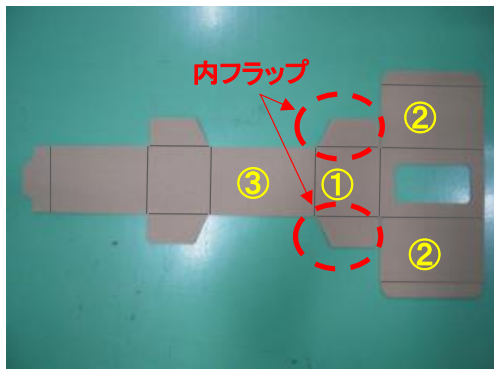


※罫線(折れ線)が見える方が裏面
※競技材料はカットのみの材料であるため屑取り作業が必要となる。

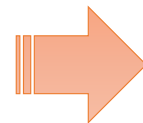
なか はこ かん せい ず
中 箱 完 成 図



6. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り
その後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



7. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、
③の部分を下に向きを変える。



8. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。
 その際、中箱の穴から小箱の底が見えないように
 小箱の向きに注意する。



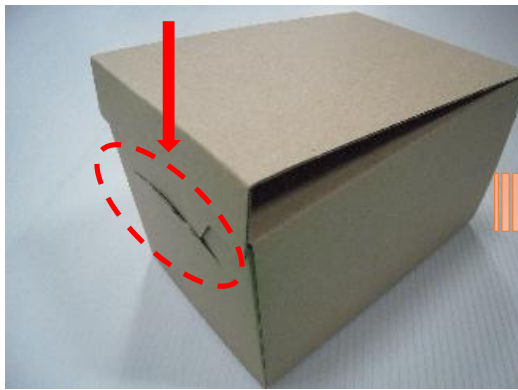
9. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中に
 折り込む。



10. 中箱の天面を本体に向かって折る。



11. さいご てんめん せんたん さしこみ ぶ ほんたい
最後に天面先端の差込部を本体の
き くれこみ ぶ そうにゆう かんせい
切れ込み部に挿入し完成。



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（2）

化粧箱身展開図

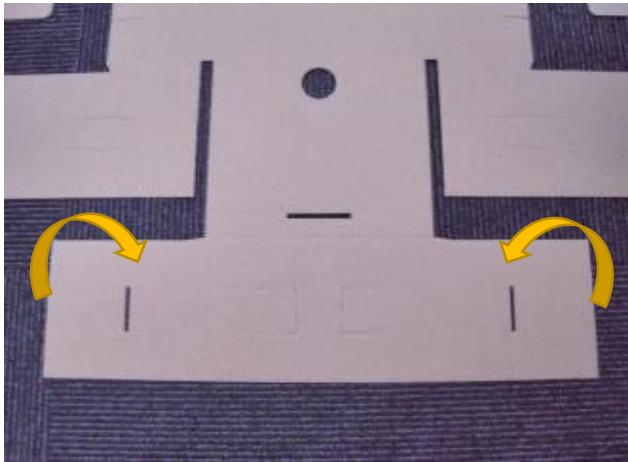
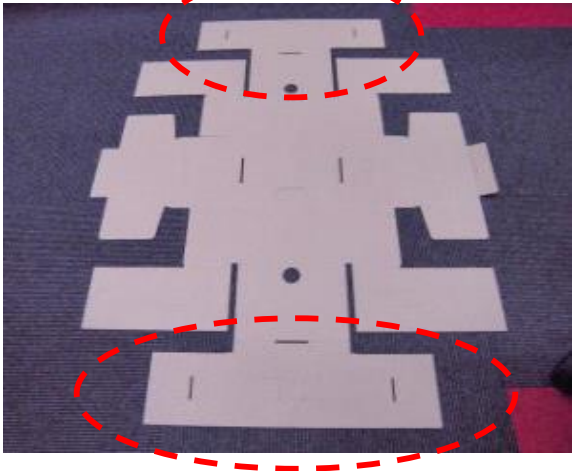


※罫線（折れ線）が見える方が裏面
※競技材料はカットのみの材料であるため屑取り作業が必要となる。

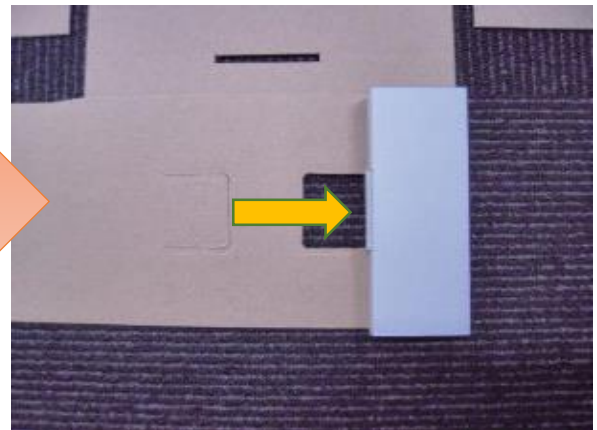
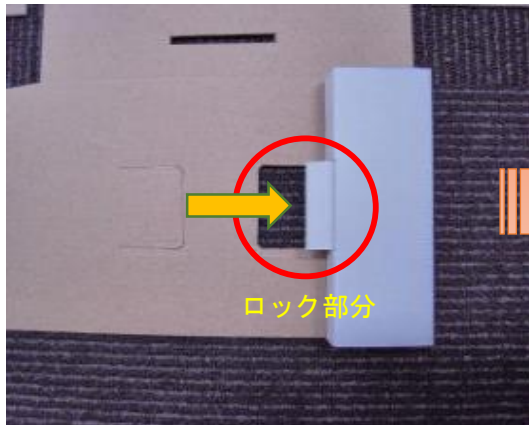
化粧箱身完成図



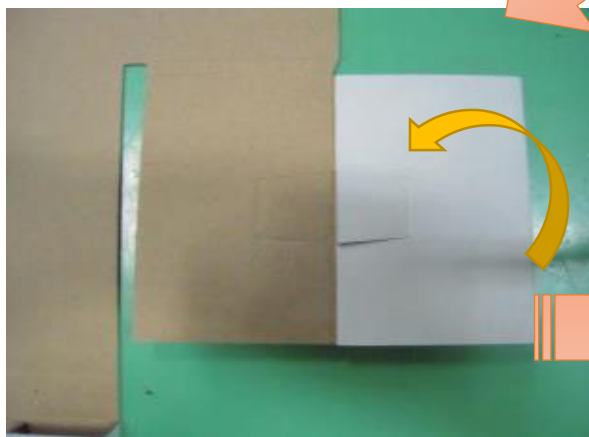
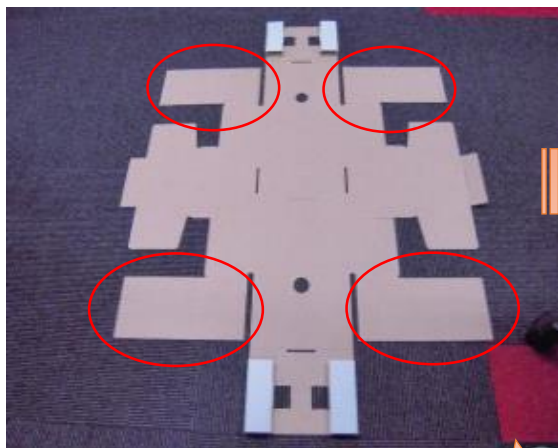
1. はじめに丸印の部分から折る。
端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ
折る。



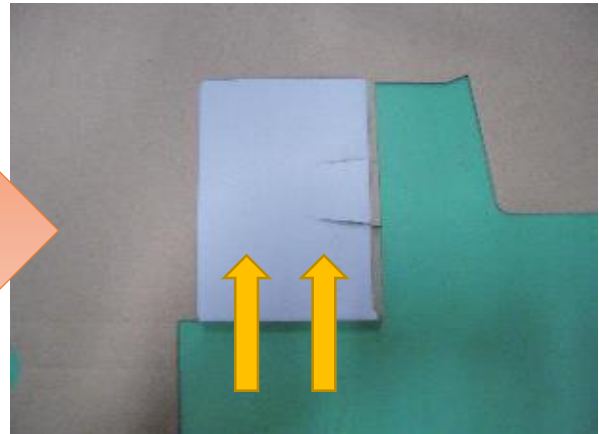
2. 折った部分の穴に、ロック部を^お下^ぶから^{ふぶん}立ち^あ上げ^さ差し^こ込む。
これを計4か所、同様に折る。



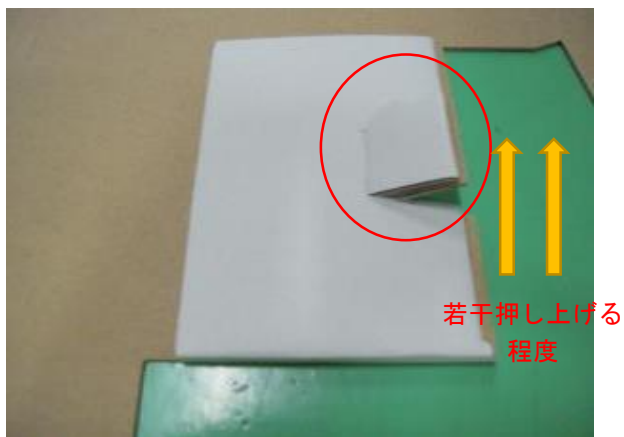
3. 丸印の部分を端から罫線に合わせ内側に^お折る。



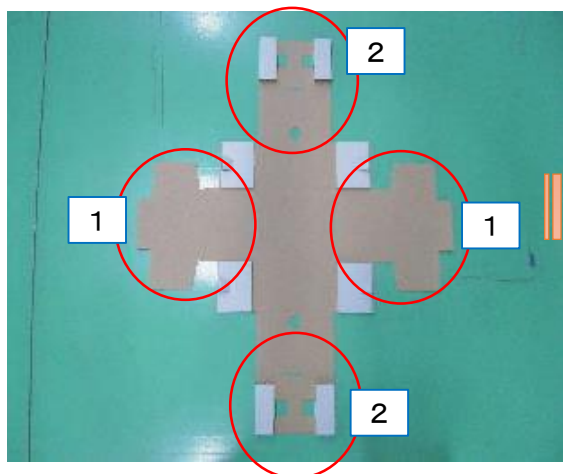
4. 本体中心に向かって罫線に合わせ折る。



5. ロック部分を下から押し上げロックする。
これを各部、計4か所同様に折る。



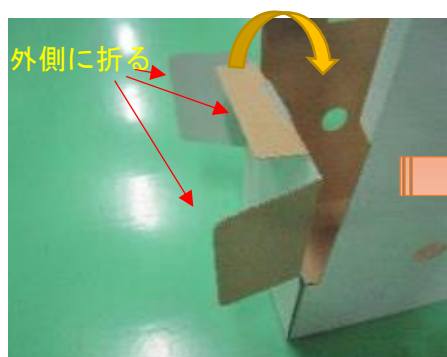
6. 2の部分を持ち上げる。



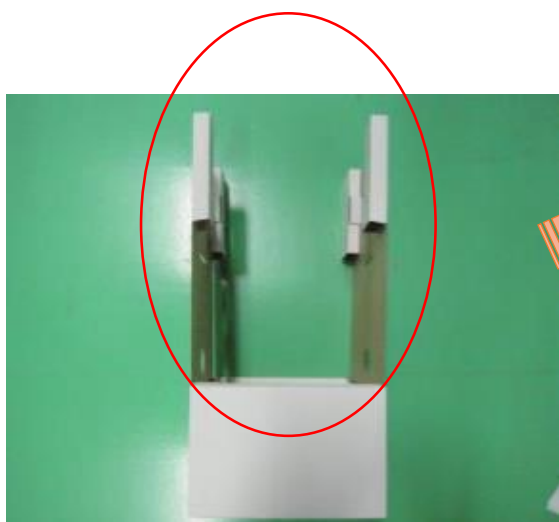
7. フラップ部分を内側に折り、1の部分^{ぶぶん}を^{うちがわ}立ち^お上げる。



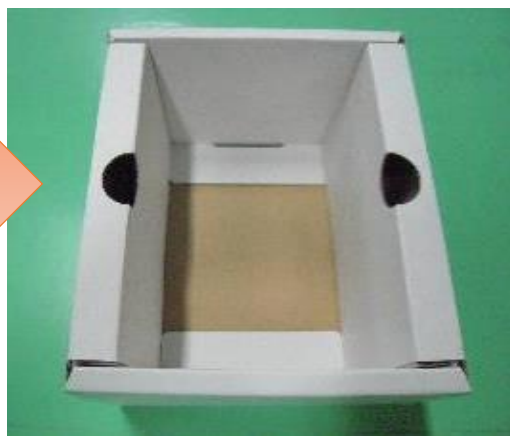
8. 1の部分の先端^{ぶぶん}を外側^{せんたん}に3か所^{そとがわ}折り、
本体内側^{ほんたい}に折り込む。反対側も同様に折る。



9. 2の端の部分^{はし}から罫線^{ぶぶん}に合わせ折り、
額の部分が平らになるまで中^{けいせん}に折り込む。



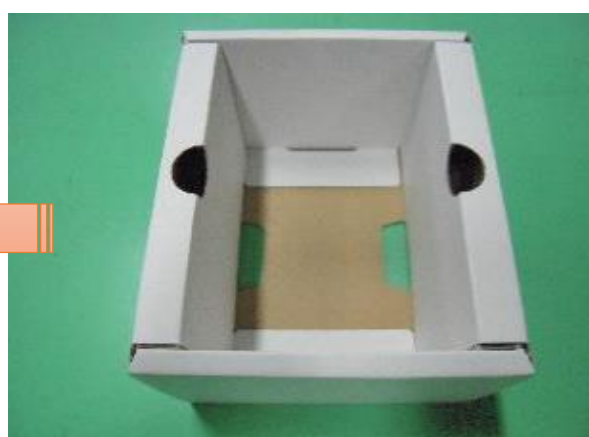
10. 反対側も同様に折る。



11. 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から押し出し、2の穴に挿入する。
反対側も同様に穴に挿入する。

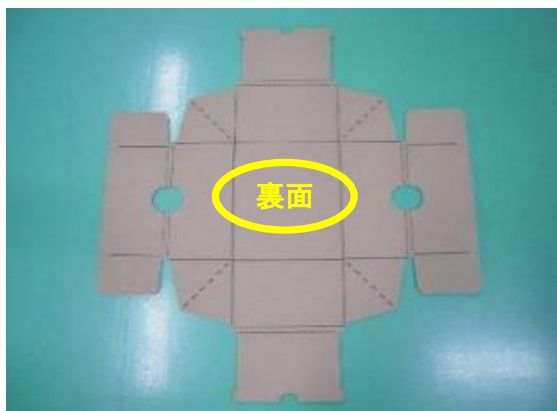


12. 2か所のロックが出来たら、底部を下に向きを変え完成。



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（3）

化粧箱蓋展開図



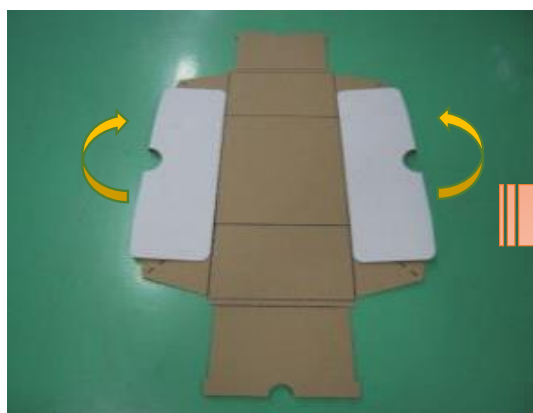
化粧箱蓋完成図



※罫線（折れ線）が見える方が裏面

※競技材料はカットのみの材料であるため屑取り作業が必要となる。

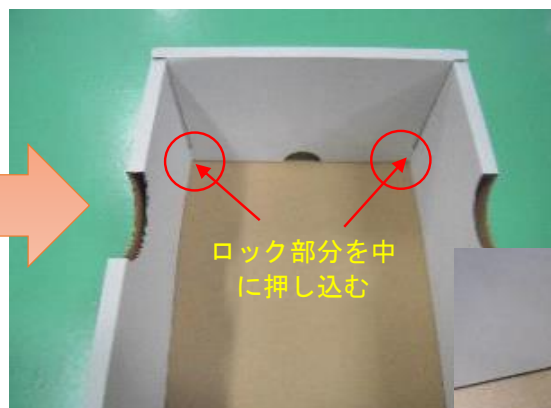
1. 額部分を内側に折り、額部分全体を立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。
 その後、外側フラップのミシン目を
 内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を
 中に押し込む。

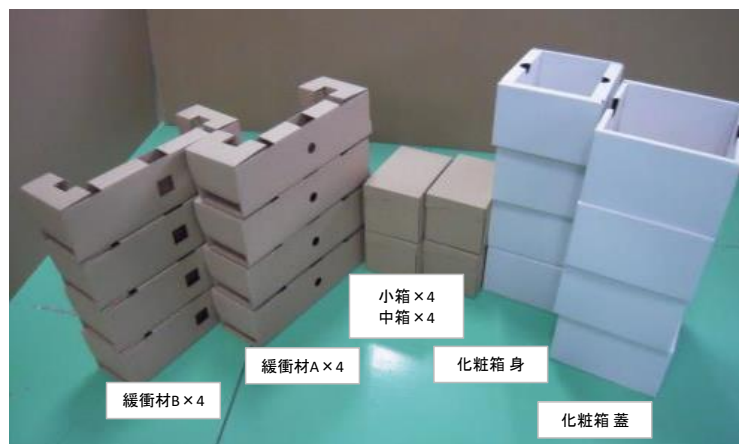


4. 反対側も同様に折り完成。
はんたい がわ どうよう お かんせい



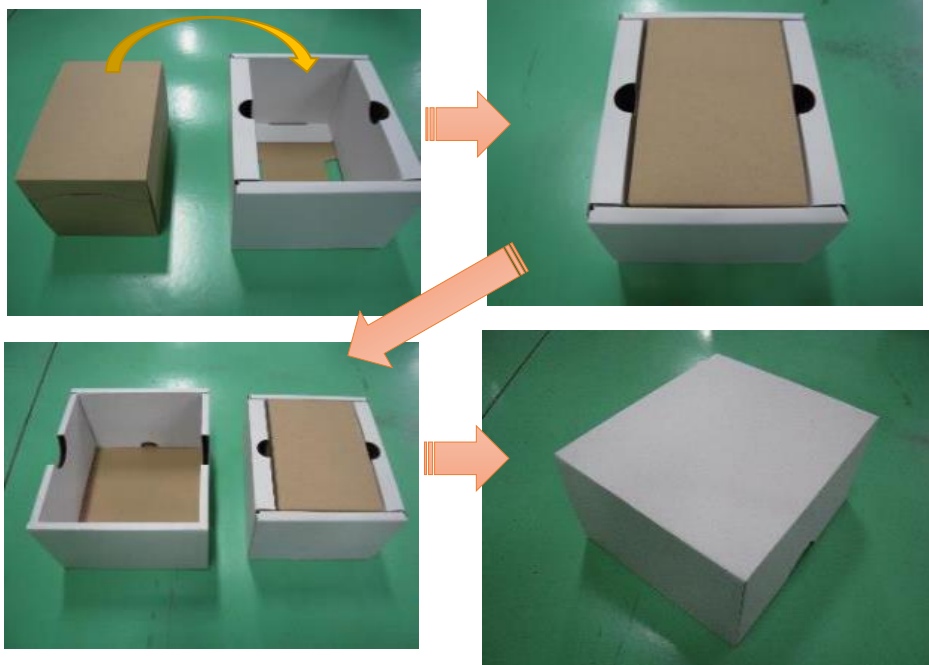
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（4）

梱包部品一覧



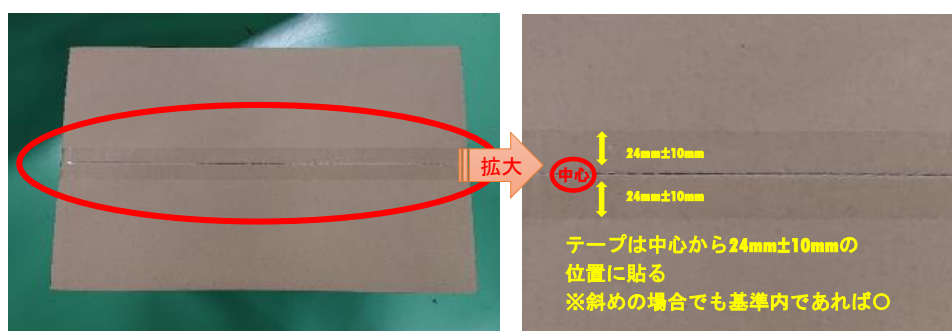
※上記部品を外箱にセットアップし梱包する。
※緩衝材は紐で結束された状態で配布され競技中に紐を解き使用する。

1. 化粧箱 身に小箱が入った中箱を
入れ、蓋をする。これを4ケース作成する。

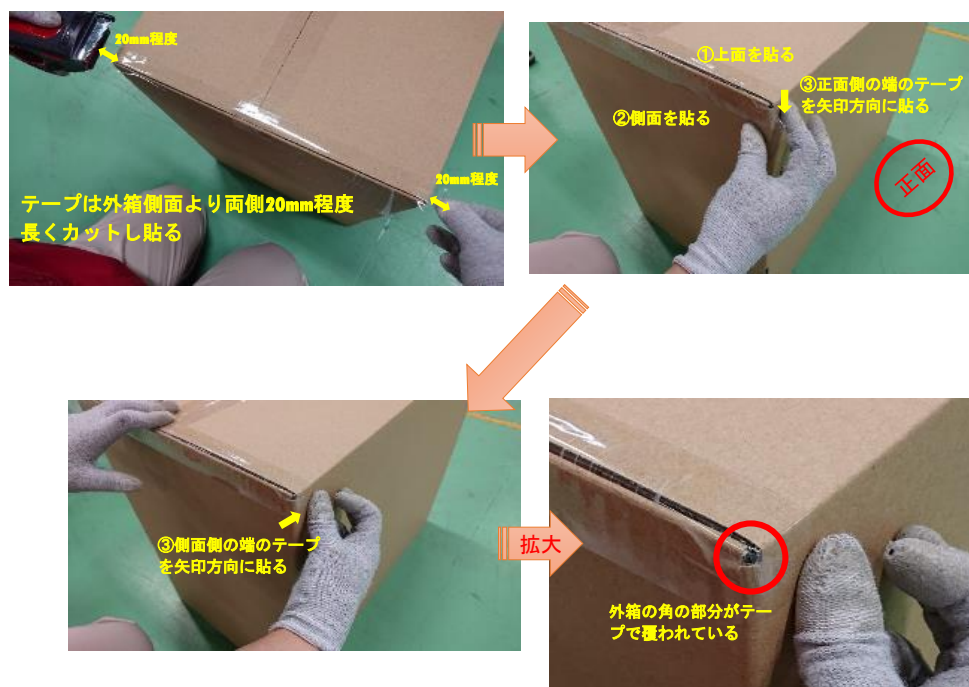


2. 外箱を組み立て底部を包装テープで貼り封をする。

① 外箱の底部を組み立て、中央部を包装テープで貼り封をする

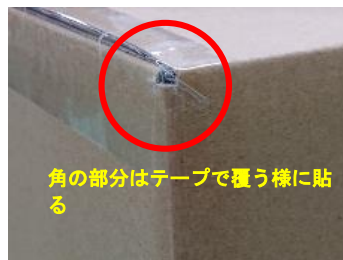
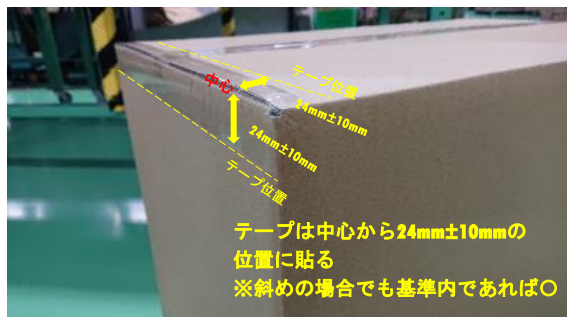
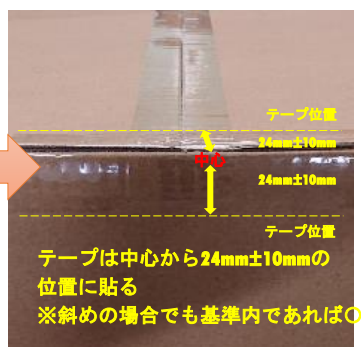


② 外箱の側面側を包装テープで貼る





拡大



3. 底部を封をした外箱の中に緩衝材を○または口が外側になるように各2ヶずつ設置し、化粧箱を入れる。



4. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うように
それぞれ設置する。



5. 外箱の上部を折り敷き紙の上に置く

※上部はテープを貼らないこと



※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙からはみ出ないように置くこと
※敷き紙には製品以外の物を置くことは出来ない